

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・避難経路に段差がある。冬期間屋根からの雪の為、スロープの利用が困難。 ・地域住民の協力体制はできているが、具体的な役割が決まっていない。 ・様々な場面を想定した避難訓練が不十分である。	・避難経路を確保する。 ・地域住民の役割分担を明確にし地域との関係を作る。 ・色々な場面を想定した避難訓練を実施する。	・踏み台の設置、取り外しのできるスロープの準備をする ・運営推進会議で話し合い、避難場所である町内会館への誘導等の協力を得る。 ・地震や水害等を想定し、入居者が難しい場合は、職員で訓練を行なう。	12ヶ月
2	38	入居者と職員の食事の時間が違う。	入居者と職員が同じ食卓を囲み会話をしながら楽しい時間を持つ。	入居者と職員が同じ時間に食事をする。	3ヶ月
3	43	入浴について	本人の希望に沿いゆっくり入浴できる体制を作る。	日にちの変更や時間を改めたり、毎日入浴できる体制を作っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。